

常任・特別委員会の動き

津波避難施設整備補助制度を創設

屋上フェンス・外づけ階段等が対象

総務

総務常任委員会は、六月十三日に開催され、委員長、上フェンスや外づけ階段など副委員長を互選した後、議案一件、陳情一件を審査した。その結果、議案は可決すべきもの、陳情は趣旨不了承と決定した。

また、①救急ワークステーション事業②平成二十四年度指定管理者制度における第三者評価の実施結果③「善行地区における地域コミュニティ活動事業用地取得に関する調査特別委員会」の調査報告書に係る市の対応④津波避難施設整備に対する補助制度——以上四件について報告を受けた。



地震・津波を想定した避難訓練＝鵠南小学校

この補助制度は、大規模地震等による津波災害から市民等の生命を守り、津波に対する不安を軽減するために創設する。

対象事業は、地域住民等が津波発生時に一時的あるいは緊急的に避難できる津波避難施設整備事業を実施する者とする。

対象経費は、屋上フェンス、外づけ階段、屋上デッキ、案内表示板、誘導照明灯などの設置工事とする。

津波避難施設整備に対する補助制度について

〈市の説明〉

この補助制度は、大規模地震等による津波災害から市民等の生命を守り、津波に対する不安を軽減するために創設する。

対象事業は、地域住民等が津波発生時に一時的あるいは緊急的に避難できる津波避難施設整備事業を実施する者とする。

対象経費は、屋上フェンス、外づけ階段、屋上デッキ、案内表示板、誘導照明灯などの設置工事とする。

津波避難施設整備に対する補助制度について

〈市の説明〉

この補助制度は、大規模地震等による津波災害から市民等の生命を守り、津波に対する不安を軽減するために創設する。

対象事業は、地域住民等が津波発生時に一時的あるいは緊急的に避難できる津波避難施設整備事業を実施する者とする。

対象経費は、屋上フェンス、外づけ階段、屋上デッキ、案内表示板、誘導照明灯などの設置工事とする。

インクルーシブ教育

全ての児童生徒に最適な教育を

補正予算

補正予算常任委員会は、六月十四日と二十五日に開催された。六月十四日の委員会で、議案二件を審査した。その結果、議案は全可決すべきものと決定した。六月二十五日の委員会で、議案一件を審査した。

また、補助事業としての認定については、市内の関係各課による調整会議を設置し、総合的に判断することを予定している。

救急ワークステーション事業の効果については、①救急救命士が救急出動体制を維持しながら研修を行うため、当直人員の不足が生じることなく、有効な病院実習時間の確保が可能となる②医師が救急車に同乗出場において高度な救急医療の提供が可能となり、救命率の向上が期待できる③医師の同乗出動により、救急現場や搬送中でも医師から直接指導や助言を受けられるため、救急隊員の能力向上につながる④大規模災害の発生時には、医療機関との連絡調整ステーションとして機能することにより、救急部隊の円滑な運用が期待できる⑤救命救急センター八月一日を予定している。

六月十四日と二十五日に開催された。六月十四日の委員会で、議案二件を審査した。その結果、議案は全可決すべきものと決定した。六月二十五日の委員会で、議案一件を審査した。

また、補助事業としての認定については、市内の関係各課による調整会議を設置し、総合的に判断することを予定している。

藤沢市新庁舎建設基本構想を策定

施設再整備特別委員会・公共

補正予算

藤沢都心部再生・公共施設再整備特別委員会は、六月二十六日に開催され、藤沢都心部再生及び公共施設再整備について審査した。この日の委員会で、藤沢市新庁舎建設基本構想の策定について審査を行った。

〇藤沢市新庁舎建設基本構想の策定について

〈市の説明〉

藤沢都心部再生・公共施設再整備特別委員会は、六月二十六日に開催され、藤沢都心部再生及び公共施設再整備について審査した。この日の委員会で、藤沢市新庁舎建設基本構想の策定について審査を行った。

〇藤沢市新庁舎建設基本構想の策定について

〈市の説明〉

水防訓練を視察

水防態勢の整備を図る

災害対策等特別委員会

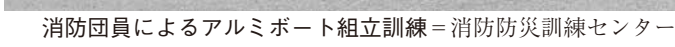
災害対策等特別委員会は、五月二十四日に開催され、藤沢市消防防災訓練センターにおいて実施された水防訓練を視察した。

この訓練は、集中豪雨及び台風などに備え、発災時に迅速かつ的確に対応する

午後二時の現地指揮本部設置訓練から始まり、訓練項目に従い、低地浸水防衛訓練における土のう作成訓練が行われ、消防団員らによる土砂集積所での二人一組になり、約千袋の土のうを作成し、視察した当委員らもこの土のう作成に参加した。

内水排除訓練の広報訓練では、県藤沢土木事務所職員及び大和市職員らが参加し、パトロール車による住民広報を行いながら河川の状態確認を行い、災害対策本部に無線で報告する訓練が行われた。また、排水ポンプ操作訓練や照明用装置操作訓練も行われた。

河川氾濫防止訓練では、消防団員や建設業協会らが参加し、建設業協会のクレーン車と土のうを積載し



消防団員によるアルミボート組立訓練＝消防防災訓練センター